災害時医療のための

熊本方言

熊本市を中心とする　地域

高知大学教育学部岩城研究室　編

Ver 1 (2016-05-10)

A3で印刷することを推奨します

ヨコに①→②の順で山折り、タテに左から順に傍線部で山折り、点線部で谷折り

1、応答・意思に関する表現

うんにゃ→　いいえ

～ごたる　→①～のようだ②～したい

～ごてにゃ　→～たくない

そうきゃな　→そうかな　（程度頻度の「そうにゃ」も参照）

のうなる　→なくなる

のすこっじゃにゃ　→困ったものだ

～はいよ　→～ください　（～してはいよ＝してください）
　いただくという意味でも使う

ばー、わー　→まあ　（感嘆詞）

まっぽし　→その通り

2、身体感覚・症状

あいたす→あ！痛い

あぐる→嘔吐する　（あぎゅごたる＝嘔吐しそう）
＊差し上げるも「あぐる」

いえんか→えぐい

いきのばかう→息が切れる

かつれる→飢える

かなわん→①感覚がなくなる、かじかむ　②かなわない

きくる→効く、効果がある

きちい・きつか→きつい、疲れる

こえる→太る

こずく→咳をする

こそばいい→くすぐったい

こねる→くじく

こわる　→凝る

じゅるか→水分が多い

しぼる→下痢をする　（はらんしぼる）

すーすーする→うすら寒い、肌寒い

すかばれる→腫れあがる

すびく→寒くて手足がかじかむ

せく→①傷む　（胃のセク＝胃がきりきり痛む　腹のセク＝腹痛）　②焦る、急ぐ　③閉める

たりかぶる→下痢をする　（男性が使う）

だるか→だるい

たんこつ→痰

とわん→効かない，効果が無い

なえる、なゆる→元気がなくなる

ねたがわす→寝違える

のぼする→のぼせる、熱中する、調子にのる

ばば→大便

ひだるか→ひもじい

ひでる→ひりひり傷む

ひょかひょかする→膝ががくがくする

めんみゃー→めまい

やぜくるしか→暑苦しい

わるぐるしか→気分が良くない

3、病名・症状（名詞）

あせぼ→あせも

おひめさん→ものもらい

からすまがい→ふくらはぎの痙攣
　あしんつと→ふくらはぎ

ねぶと→腫れ物

ほおばれ→おたふくかぜ

ほろせ→じんましん

4、頻度（時間関係を含む）

あたじゃ　→急に

いっとき　→しばらく

たんびに　→たびたび

5、程度など

あちゃこし→反対に

あばかん、いっぴゃあ、えっと、おもさん、ぐっさり→たくさん

あらかた→だいたい

あるしこ→あるだけ

いさぎい、いそぎゅう、えらい→とても、たいへん
　いさぎいこつ＝大変なこと

いっちょん→全く・全然

いっどき→同時に

うーばんぎゃー→おおざっぱ

かつがつ→適度、少しずつ

かったり→ちょうど

さしより→とりあえず

しゃんむり→どうしても、無理して

そうにゃ、そーん→本当に

そうよ→全部

たまらん→耐えられない、我慢できないほどの

ちっと→少し　（ちっとん＝少しも、ちっとも）

はすはす　→ぎりぎり

ほんなこて→本当に

どがしこ、どしこ→どれだけ

はよおそお→早く　（はよおそお起きろ＝早く起きろ）

ゆんべ・よんべ→昨晩

ようと→すっかり　（ようとの＝完全な）

よのよして→一晩中

②

6、心情

あくしゃうつ　→もてあます、もてあまして困る、うんざりする

あられん→とんでもない

あわつる→あわてる

うしてていっちょく→そっとしておく

うすとろか　→気恥ずかしい

えずか→恐ろしい　（こええ＝こわい）

おうじょする　→手こずる

おこなえん→たえられない

おろよか→あまり良くない、ひどい

がっぱり(する)→がっかり(する)

かんじんのごたる→みすぼらしい

きじょうもん→しっかりした人

きしょく→気持ち

きっちゃする→つらい思いをする

きょそつく→落ち着かない

ぐうらしか→かわいそう

ぐでらっか→だらしない

ざまなか・ざまにゃー→情けない、みっともない

さみしか→さみしい

しいら→空っぽ　（しいら笑い＝せせら笑う）

しょのむ、しょなむ→妬む

しょんなか→仕方がない

ずつなか、じゅつなか→切ない、つらい、やるせない

せからしか→うるさい

せっこむ→焦る　（症状の「せく」も参照）

たまげる→驚く

たまらん→我慢できない

ちんちろまい→てんてこまいな様子

てれっと（する）→ぼんやり（する）

どうろこうろ・どりこり→何とか

とぜんなか→さみしい、たいくつだ

とつけもにゃあ→とんでもない

なこごたる→泣きそうになる（泣くようだ、の意）

にくじ→意地悪、嫌がらせ

ぬっか→あたたかい

ねぶりかぶる→眠い、うとうとする

のさん→我慢できない、いやだ、おっくうだ、大儀だ
（のさる→良いことが多い）

はがいか→じれったい、悔しい

はまる→覚悟する

はらかく→腹を立てる

ひっちゃかまし→面倒くさい

ぶしょぶしょ→しぶしぶ

ぶて→ダメ、つまらない

へぐれんこつ→つまらないこと、くだらないこと

ぼく→ダメだ

むげなこつ・むぞなげなか→かわいそうな

むぞか、むぞらしか、こやらしか→かわいい

むねこん→仕方が無い

もてん→がまんできない

やおいかん→容易ではない

らちゃあかん→らちがあかない

7、動作

うしてる・うしつる→捨てる

うんぶくるる→おぼれる

おずむ、おぞむ→目覚める

かかじる　→かきむしる
（かかじらんよ＝かきむしらないで）

かごむ→しゃがむ

かずむ→嗅ぐ

かたむる、いなう→担ぐ

かつる、かてる→仲間に入れてやる

からう→背負う

くじる→（鼻などを）ほじる

ぐぜる→ぐずぐず言う

こかす・こくる・こける・つっこける→落とす、転ぶ

ごすっと→急に立ち上がる様子

こぶる→かじる

さする、さすっ→させる　（させらっさん～させてくれない）

さろく→うろうろする

せせくる→さわる

そぜる→傷む、傷が付く

そびきだす→無理矢理引っ張り出す　（そびく＝引きずる）

たぶる→食べる

ちぎる→もぐ　（みかんちぎり＝ミカン狩り）

つ～→動作を表す語の前によく付く

つくざす→壊す

つくじる→つつく

つむ→「髪をつむ」で散髪するの意

つめる→鍵をかける

とんぎる→とがらせる

なわす→①しまう　②修理する

なわる→（場所などを）移動する

なんころぶ→寝転ぶ

ぬくむる→あたためる

ぬらかす→濡らす　（ぬるる＝濡れる）

ねずむ→つねる

ねぶる→舐める

ねんかかる→もたれかかる

のごう→拭く

はってく→①行ってしまう　②死んでしまう

ばちかやす→ひっくり返す

はわく→（箒で）掃く

この手引き（最新版）は下記でダウンロードできます。
　高知大学教育学部　岩城研究室
http://ww4.tiki.ne.jp/~rockcat/

また、身体語彙図などは下記で入手できます

今村かほる方言研究チーム　WEBページ

http://hougen-i.com/

熊本支援方言プロジェクト　WEBページ

http://www.fukujo.ac.jp/university/other/hougenpjt.html

①

8　その他

あえる→汚れが落ちる（あえん＝汚れが落ちない）

あけせき→開けたり閉めたり

あせくりかえす、あせくる→引っかき回す

あとぜき→戸を閉める

いみる→増える

うしてる→捨てる

うっくざるる・うっくざれる→崩れる、壊れる

おしごみ→押し入れ

おめく→大声を上げる

がまだす→一生懸命に働く、精を出す

こすか→ずるがしこい

こずむ→積み上げる

ざいごう→田舎

さばうち→泥はね

さばけとる→物わかりがいい

しこ→準備

しこなす→やってしまう、やり遂げる

しちくどか→執念深い

しなぶれる→しおれる

しょうこうつなし→しかたなく

ちの一でいこい→一緒に行こう

つくざす→壊す

なんぎゃる→ほおり投げる

ねまる→腐る

はかいかん→はかどらない

はざぐい→間食

ぴっしゃる→押しつぶす

ほかす→穴をあける

まぱいか→まぶしい

むぞがる→かわいがる　（むぞか。＝かわいい）

もじゃー→頑固に主張する

もやい→協同作業

やうつり、やどがえ→引っ越し

やぶれぐち（たたく）→悪口（言う）

～やりよらす→している

ばさろ→大変、たくさん【阿蘇】

地名

やっちろ　→八代

メモ

■使用方法■

＊このツールはA3で印刷後、①、②の順でヨコに2カ所の山折り、
次に左からタテに山折り（実線）、谷折り（点線）、山折りにすることで、
ナース手帳などと同じ大きさになり、ポケットに入ります。

＊最上段に「どのような症状が」「どの程度」「どんな頻度で」を把握する
場合に出現すると思われる語、
中段に心情等心のケアに必要な語や動作、
下段には被災状況を聞く場合に出現しそうな方言を掲載しています。

緊急対応→上段、心のケア→中段、被災状況の話→下段
のように使い分けることができます。

心のケアに関しては6週間程度までの反応期のチェックを中心に語の
取捨選択を行っております。
（「災害時地域精神保健医療活動ガイドライン」 厚生労働省
「災害時の心のケアマニュアル第2版」高知県地域福祉部
を参考にしています。

＊関係する方言語彙の五十音順のツールもあります。両面印刷すると
便利です。

＊方言は地域によって細かな差もあるため、メモ欄などに修正・訂正を
加えながらご利用ください。